



「お仏壇は命の次に大事?」

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには
愈々ご清祥にてお念仏ご相続のこと慶賀に
存じ上げます。

何度も書いていますが、私は寒いのが苦手
で、福井地震で傾いた寺のすきま風にも閉口
します。年明けから寺の給湯器が壊れてし
まい、一ヶ月冷水で洗い物をしていました
が、なんとなく川で大根を洗った『おしん』
の気持ちがあわかった気がしました。不思議
なもので、初めはものすごく冷たいのです
が、洗っているうちにほんの少し慣れるん
ですね。これも給湯器が壊れたからこそ知り
得た事実で、蛇口をひねればお湯が出るとい
う、50年前には予想もできなかった時代に生
きているのだと改めて知らされ、有り難さを
噛みしめました。おかげさまで先日、思い
切って給湯器を新しくしました。請求がま
だなのでビクビクしています。

さて、この季節はみなさまのお家でお仏壇
の前に座って読経しているときにもどこか

らともなく冷たい風が吹いて
くるのが結構あります。そ
してその風に乗ったお線香の
煙が私の顔に直接当たって煙
たいことも多いのです。以前
から不思議に思っていました、山中温泉の

あるお家にお参りしたときに、奥様が教えて
くださいました。昔はお仏壇のない家も多
く、阿弥陀さまにはお寺やお道場でお参りす
るといふ時代が長く続きました。そして、
やつとの思いで購入したお仏壇をそれはそ
れは大切にしたいそうです。昔は火事も多く
て、火事になって大切なお仏壇が燃えてし
まつてはたいへんと、お仏壇を家の端っこに
安置して、板一枚で外と接している状態にす
ることが多かったのだそうです。そうすれ
ば、万が一火事になっても、外からナタのよ
うなもので板一枚を割って外せば、命の次に
大切なお仏壇を無事に運び出せるというの
です。

みなさまのお家のお仏壇が、端っこの寒い
ところに安置してあって、外との間が板一枚
であるなら、きつとご先祖さまが本当にお仏
壇を大切に思われてそうされたのでし
ょうね。先人の方々の尊く篤い思いを感じるこ
とができるのではないでしょう

か。この話を聞いたときに、私が小学校一年生
のときに近所の銭湯が火事になったときの

彼岸会にお参りください。
3月20日(月・祝) 昼2時より

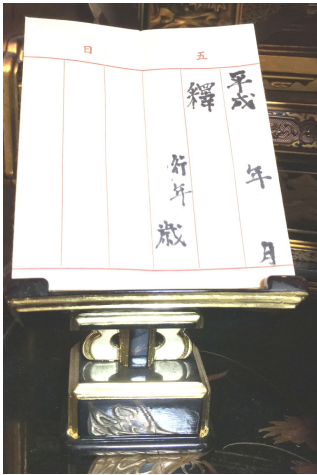
ことを思い出しました。私は怖くてただ泣
いていたのですが、私の祖父(前々任職)は
本堂のご本尊(阿弥陀如来)を須弥壇から下
ろして避難させたのです。福井地震の時に
は祖母が火の始末をして境内に出たら、松の
木にしがみついていたという気の弱い祖父
ですが、火事の時には立派だったなあと
思います。しかし、命を落としてしまっ
てはいけません。平成25年に美浜町の西誓寺さまの
ご住職が、火事の中、燃えさかる本堂に戻
つて亡くなられたことも思い出しました。命
を賭して、仏様を護ろうと思われたのだと思
います。

翻って、私が命の次に大切なものとはな
らうかと正直に考えてみたとき、誰もが
大好きなはずのアレ。しか思いつきません。
もしお寺が火事になったら、真っ先に逃げて
しまはずなの私でした。韓国のセウオ
ル号の船長と同じです。燃えさかる本堂に
戻る勇氣があるとは到底思えません。某大
統領じゃありませんが、どこまでも自分
ファースト(第一)です。なにをするにも楽
な方へ楽な方へと考えてしまう私でした。

「お位牌についての話」

門信徒のみなさまのお家にお参りさせていただくと、ほとんどのお仏壇にご先祖のお位牌がご安置されています。しかし、浄土真宗ではお位牌は用いられません。また、お位牌は礼拝の対象でもありません。お仏壇はご本尊の阿弥陀如来をご安置する場所であり、この私が日々を生きる支えである、如来のお慈悲に遇う場所なのです。(詳しくは西光寺のブログにあるリンクの勤式指導所のHPの『家庭の仏事・作法』をご覧ください)

とはいえ、故人の法名・俗名・命日をごここに記録しておく必要はあります。浄土真宗では過去帳を用います。今あるお位牌はこの地方に長く続いた慣習でもあるので、片づけてくださいとは申しませんが、もしこれからお位牌を作られるのであれば、写真のような過去帳を求められてはいかがかと思えます。写真はご門徒さまのOさまのお仏壇を撮らせていただきました。(法名などは消してあります)



「彼岸会にお参りください」

日	10時〜	14時〜	19時〜
20日 (祝)		速夜 正信偈行譜 法話二席	

鯖江市別司町 称名寺若院
本願寺派布教使
ご法話

佐々木和則 師です。

春の彼岸会も9年目となりました。ご講師には、一昨年も来ていただいた、鯖江の佐々木和則先生にお願いしました。佐々木先生は私と京都の伝道院で同期でした。ご縁があつて敦賀の一般家庭からお寺に入られました。私などのようなお寺に生まれてお坊ちゃんやで育った僧侶とは覚悟も心構えも違います。今年はどうな話を聞かせていただけるか楽しみです。

「花まつりにお参りください」

今年の三国町仏教会の花まつりは4月8日のお釈迦さまの誕生日当日に開かれることになりました。ぜひご参加ください。今年私の仕事が遅くてまだチラシができていないので、チラシができたらまたお配りしたいと思えます。また、奉賛懇志を募っております。一口千円となっております。どう

ぞご協力をお願いいたします。ご連絡いただければすぐに伺います。

日時 4月8日(土)

8時半……白象町内パレード
10時半……子供大会
14時……式典・記念講演

会場 松ヶ下 西光寺

※今年も、仏教会オリジナル花まつりパンをご用意してお待ちしております。

今年の三国は雪も少なく、本堂の屋根を心配せずにすんで有り難かったです。坊守が圧迫骨折で入院してその付き添いをしたり、阪北組のこと、三国町仏教会のこと、今年8日の本願寺団体参拝のことなど、次々とやることに追われて、気がついたら3月になっていました。なんて早いなと驚くばかりです。今生の生を終えて、お浄土に参らせていただける日もそう遠くはないのだと知らされます。必ず浄土に生まれさせるとお誓いくださった阿弥陀さまならこそ、すったもんだの今をそのままに生きられるのでしょね。

では、彼岸会でお会いいたしましょう！

住職携帯 090-8667-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時！